

JRG3400,3410 Type Mixing Valve

JRG3400,3410型 ミキシングバルブ

製品記号 JRG3400-□
JRG3410-□

スイス JRG社製

※□内には設定温度および調整温度範囲により3桁の記号が入ります。

JRGミキシングバルブは、温水と冷水を接続するだけで、給湯温度を自由にコントロールできる温度調整弁です。

安定した温度の給湯が得られ、お湯が大量に使用される設備に安心して使用できます。

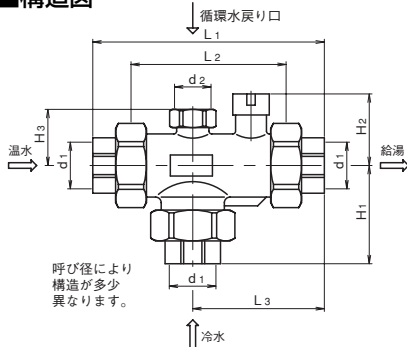


JRG3400型 (呼び径15~50)

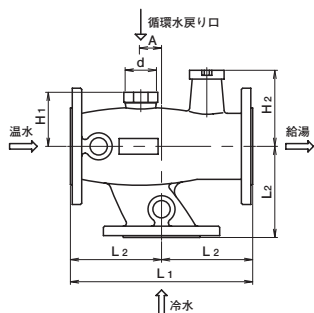


JRG3410型 (呼び径65・80)

■構造図



JRG3400型 (呼び径15~50)



JRG3410型 (呼び径65・80)

■特徴

- 温水と冷水を接続するだけで、簡単に給湯ができます。
- 温水および冷水の圧力変動に対して、サーモエレメントの追従性がよく、安定した温度でお湯を供給します。
- 複管式(循環方式)、単管式のどちらにも対応できます。
- 青銅・ステンレス鋼・樹脂など耐食性に優れた材質を使用しています。
- 軽量・コンパクトで施工性に優れ、省スペース化が図れます。

■仕様

型式	JRG3400型				JRG3410型				
製品記号 呼び径	15	JRG3400-910	JRG3400-912	JRG3400-914	JRG3400-916	—	—	—	—
	20	JRG3400-920	JRG3400-922	JRG3400-924	JRG3400-926	—	—	—	—
	25	JRG3400-930	JRG3400-932	JRG3400-934	JRG3400-936	—	—	—	—
	32	JRG3400-940	JRG3400-942	JRG3400-944	JRG3400-946	—	—	—	—
	40	JRG3400-950	JRG3400-952	JRG3400-954	JRG3400-956	—	—	—	—
	50	JRG3400-960	JRG3400-962	JRG3400-964	JRG3400-966	—	—	—	—
	65	—	—	—	—	JRG3410-601	JRG3410-605	JRG3410-606	JRG3410-608
	80	—	—	—	—	JRG3410-801	JRG3410-805	JRG3410-806	JRG3410-808
標準設定温度	25℃	40℃	48℃	55℃	25℃	40℃	48℃	55℃	
調整温度範囲	20~30℃	30~45℃	36~53℃	45~65℃	20~30℃	30~45℃	36~53℃	45~65℃	
流体温度 (MAX) 注2.	65℃	80℃	85℃	90℃	65℃	80℃	85℃	90℃	
適用流体	温水・冷水注3.								
適用圧力	1.0MPa以下								
温水・冷水の入力側圧力差	0.05MPa以下								
端接続	JIS Rp管用平行めねじ注4. (ユニオン継手)				DIN PN10フランジ				
材質	本体 (CAC)、要部 (SUS・CAC・樹脂)								
本体耐圧試験	水圧にて1.75MPa								
取付姿勢	水平・垂直・横取付自由								
付属品	温度調整用六角棒スパナ、保温カバー								

注1. 呼び径15には循環水戻り口がありません。

注2. 内蔵されているサーモエレメント部の耐温となります。特に温水側の温度にはご注意ください。

注3. 給水装置に使用する場合は水道法性能基準適合品のJRG3400N型(呼び径15~50)をご使用ください。(212頁参照)

注4. Rp: 管用テーパおねじを使用する平行めねじ。

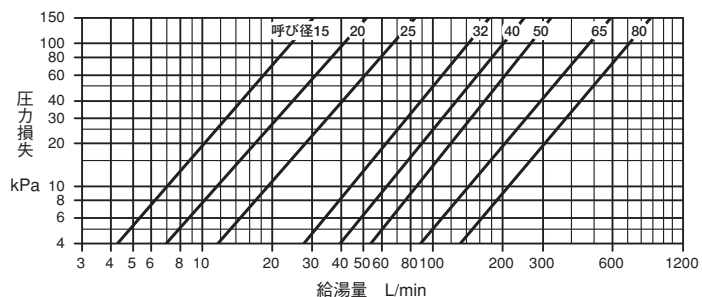
■寸法表 JRG3400型

呼び径	d1	d2	L1	L2	L3	H1	H2	H3	質量 (kg)
15	Rp1/2	—	136	90	78	58	47	—	1.1
20	Rp3/4	G1/2	148	100	85	65	49	37	1.2
25	Rp1	G3/4	165	110	95	70	51	40	1.8
32	Rp1 1/4	G3/4	195	130	111	85	75	44	3
40	Rp1 1/2	G3/4	220	150	127	95	77	51	3.7
50	Rp2	G3/4	255	180	148	108	85	65	5.7

■寸法表 JRG3410型

呼び径	d	L1	L2	H1	H2	A	質量 (kg)
65	G1 1/2	290	145	87	125	33	23
80	G2	310	155	97	127	31	28

■圧力損失線図



CS-7N型 逆止弁(水・温水用)

製品記号 CS7N-F

水道法性能基準適合品

各種給水システムにおいて、断水等で給水源の圧力が低下した際の逆圧や、逆サイホン現象発生時に、逆流を防止し、信頼できる安全な水道を守ります。

日本水道協会規格「JWWA B129水道用逆流防止弁」に準拠しております。

給水・温水システムへの安全確保のために、ミキシングバルブ入口側に設置する逆止弁です。

■特徴

- 配管から逆止弁を外すことなく、メンテナンスを容易に行うことができます。
- 点検孔を設けたことにより、機能チェックが容易に行えます。
- 低圧力損失です。
- 90℃までの温水に使用できます。
- 錆びない構成材料ですので、端接続部に管端コアを使用する事で、赤水を防止できます。

■仕様

種類	単式逆止弁(管理形)
製品記号	CS7N-F
適用圧力	1.0MPa以下
適用流体	水道水・温水・非腐食性流体
流体温度	5~90℃
逆流防止圧力	($\frac{1}{2} \times D + 30\text{mm}$)の水位~1.5MPa D:配管外径mm ^{注2}
弁体の作動性	20kPa以下
端接続	入口: JIS Rcねじ(ユニオン継手) ^{注3} 出口: JIS Rcねじ ^{注3}
材質	本体(CAC406)、要部(CAC406C)、ディスク(FKM)
本体耐圧試験	水圧にて1.75MPa
取付姿勢	自由(垂直配管の場合は下から上の流れ方向に適用)

注1. 日本水道協会規格「JWWA B129水道用逆流防止弁」に準拠しています。
 注2. ($\frac{1}{2} \times D + 30\text{mm}$)は呼び径20の例では、D=27.2mmで計算値43.6mmになります。
 注3. ねじ部には管端コアを取付けできます。
 管端コア: P・V兼用可動形コア(流体温度5~40℃)内蔵品(製品記号: CS7N-FP)も製作しています。

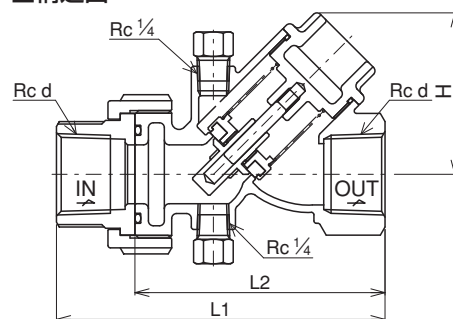
6 逆止弁



■寸法表

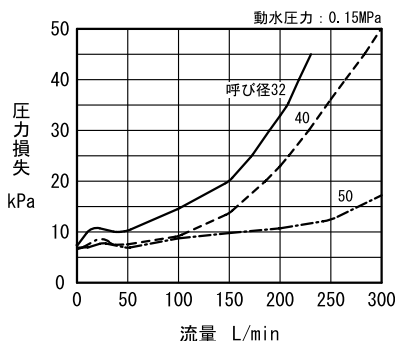
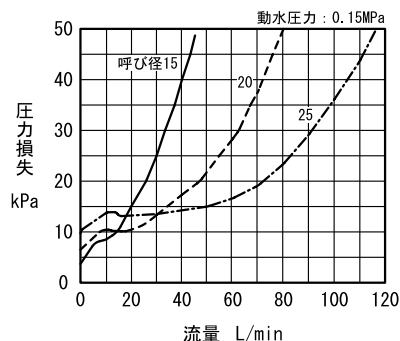
呼び径	d	L	L1	H	質量(kg)
15	$\frac{1}{2}$	122	79	50	0.7
20	$\frac{3}{4}$	135	88	59	0.8
25	1	134	102	66	1.4
32	$1\frac{1}{4}$	149	113	79	2.1
40	$1\frac{1}{2}$	162	122	87	2.9
50	2	187	145	102	4

■構造図



呼び径により構造が多少異なります。

■流量特性



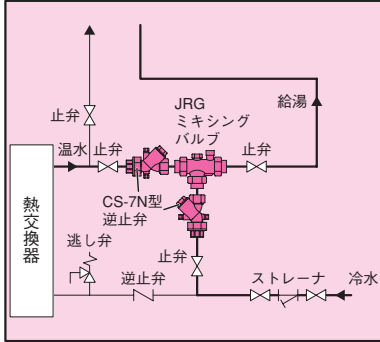
■取付・取扱上のポイント

1. 保守点検が容易な箇所を設置してください。
2. 本体の鋳出し矢印と、流れ方向を合わせて取付けてください。
3. 逆止弁を設置する前に、配管内を十分清掃してください。特に新設配管の場合、ゴミ、スケール等の異物による作動不良が発生しやすいですから、40~60メッシュのストレーナの併用をおすすめします。

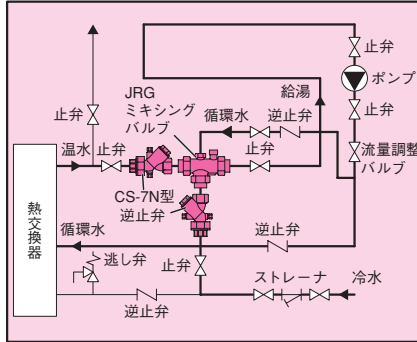
資料/JRG3400,3400N,3410型 ミキシングバルブ

■配管例

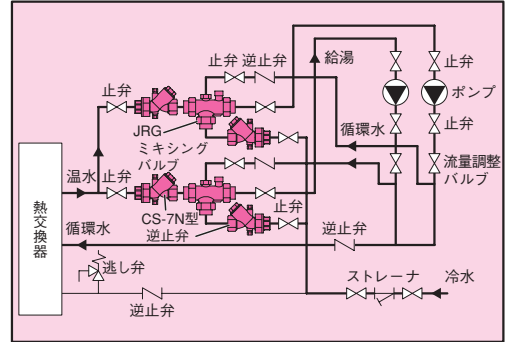
●単管式の例



■複管式(循環方式)の例



■複管式で2種類の給湯の例



注：システムの温水入口側に使用する逆止弁は、使用温度を考慮して選定してください。

■選定、設置上のポイント

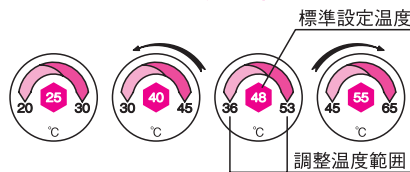
1. 配管の錆が弁内部などに詰まると、温度調整ができませんので、配管は銅管やステンレス鋼管などを使用してください。
2. ミキシングバルブを取付ける前に、配管接続に使用するシール剤や異物が入らないよう、配管の洗浄を十分に行なってください。
3. 溶接などで配管接続する場合、高温による内部部品の破損防止のために、溶接中は弁を取外してください。
4. 温水、冷水の弁入口側圧力は、減圧弁を設置するなどして、同じ圧力を供給するようにしてください。圧力差が大きくなると、低圧側が流入できず温度調整ができません。また、温水、冷水の圧力変動により、給湯温度が変動します。(温水、冷水の弁入口側圧力差は、0.05MPa以内としてください。)
5. ミキシングバルブ(呼び径15を除く)を単管式の給湯システムに使用する場合、循環水戻り口は必ずキャップを取付けた状態としてください。
6. 給湯側(混合水側)の管内温度が低下する場合や、凍結の恐れがある場合には、循環水の戻りを弁本体の循環水戻り口に接続してください。(呼び径15には循環水戻り口がありません。)
7. ミキシングバルブは標準設定温度に調整された状態で出荷していますが、設定温度を変更する場合は、下記をご参照ください。
8. ミキシングバルブは、冷水側が断水などで流入できない場合、温水側を閉止するよう動作しますが、温水を完全に閉止することは出来ませんので、温水の漏れ分が出口側に排出されます。この場合、僅かな量ですが、温水温度(熱水状態)で出口側に排出されますので、温度上昇に対する遮断装置や温水の供給温度を低めに設定するなどの安全対策を講じてください。
9. 給湯(出湯)が、人に直接触れるような給湯温度の正確さが要求される用途(温水シャワーなど)の場合、給湯口の直前に別途、混合水栓を設置するなどして、希望の給湯温度を容易に調整できるようにしてください。(本ミキシングバルブを上流側に設置し、更に給湯口の直前に混合水栓を設置して、給湯温度を容易に調整できるようにする。)
※温水、冷水の圧力変動や、温水温度の変動により、給湯温度が変動しますので、安全対策を講じてください。
10. 温水・給水系統への安全確保のため、ミキシングバルブの温水側・冷水側には逆止弁を設置してください。但し、逆止弁を垂直配管に設置する場合は、下から上への流れとしてください。当社推奨型式：CS-7N型(194頁参照)

■設定温度の変更

JRGミキシングバルブは標準設定温度に調整された状態で出荷しています。標準設定温度以外の設定は現地での調整となります。設定温度の変更は本体上部の調節ネジを操作することで簡単にできます。

標準設定温度	調整温度範囲
25℃	20~30℃
40℃	30~45℃
48℃	36~53℃
55℃	45~65℃

調整温度表示板



右回転：給湯温度が上がる
左回転：給湯温度が下がる

呼び径15~25：六角棒5mm
呼び径32~80：六角棒8mm

1. 六角棒スパナを調整温度表示板の中に差し込み、右回転(時計回り)すると温水が増加し、給湯(混合水)の温度が上がり、左回転(反時計回り)すると給湯の温度は下がります。
2. 設定温度の変更は、調節ネジを1/4回転ずつ回し、温度計を見ながら時間をかけて少しずつ行なってください。呼び径により異なりますが、調節ネジ1回転当りの温度変化の目安は約5~8℃です。

